

# 令和元年度 登別市下水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

本年度においても、市の人口と同様に、前年度に比べて水洗化人口は減少しており、今後も市の人口は減少するものと予測されるため、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

下水道事業経営戦略を基に、将来に亘って安定的に下水道サービスを提供するため、事業実施において維持管理経費等の縮減に努めることはもちろん、ライフサイクルコストを低減する観点から、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点的に実施するなど、経営の健全化に向けた取組を行いました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを着実に実施しました。

### ア 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ90,042 m<sup>3</sup>増加の3,182,999 m<sup>3</sup>、個別排水処理施設事業で前年度に比べ45 m<sup>3</sup>増加の16,669 m<sup>3</sup>となりました。

また、接続戸数（浄化槽設置基数）は、公共下水道事業で前年度に比べ154戸増加の20,989戸、個別排水処理施設事業で前年度に比べ6基増加の88基となりました。

### イ 建設改良事業

管渠建設費においては、常盤町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所の改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、若山浄化センター汚泥処理棟の土木・建築設備の更新工事などを実施したほか、下水道施設全体をより計画的かつ効果的に管理するため、ストックマネジメント計画の基本計画を策定しました。

### ウ 施設の現況

本年度末における施設の現況は、次のとおりです。

- ・ 終末処理場 若山浄化センター  
(施設構成) ポンプ棟、オキシデーショondiッチ、最終沈澱池  
塩素混和池、汚泥処理棟、送風機棟
- ・ ポンプ場 3カ所 (若草ポンプ場、幌別ポンプ場、登別ポンプ場)
- ・ 管渠 汚水管 延長 263,673.78m  
雨水管 延長 3,872.01m

## エ 財政状況

### (収益的収支)

収入は、営業収益7億4,428万8,387円(うち使用料収入6億6,166万584円)、営業外収益10億7,686万8,896円の合計18億2,115万7,283円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億8,988万3,569円、営業外費用2億8,542万8,890円、特別損失10万9,496円の合計16億7,542万1,955円となり、収支差引による当期純利益は1億4,573万5,328円となりました。

### (資本的収支)

収入は、企業債収入6億1,300万円、負担金及び分担金収入1,030万7,911円、補助金収入2億4,459万9,153円の合計8億6,790万7,064円となりました。

これに対し支出は、建設改良費3億1,057万9,065円、企業債償還金12億2,672万497円の合計15億3,729万9,562円となり、収支差引による不足額は、6億6,939万2,498円となりました。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補てんしました。